

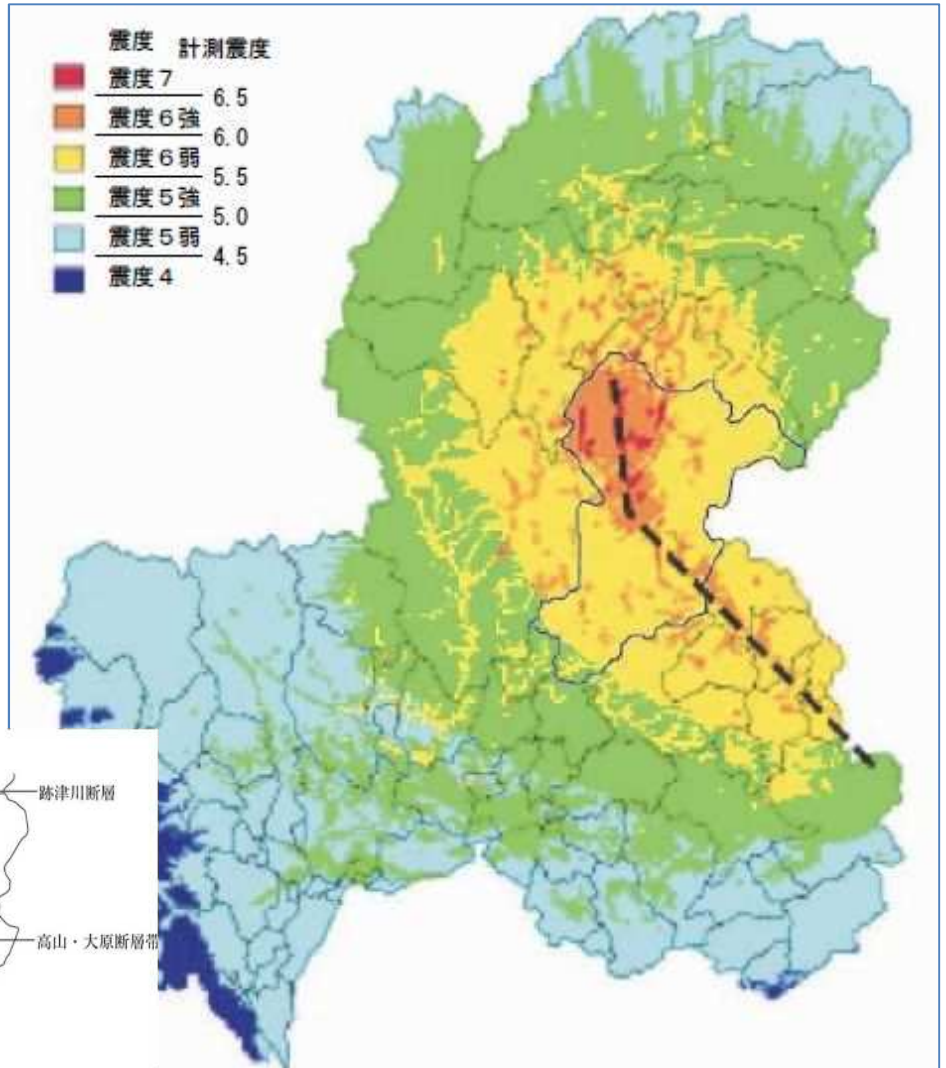
自助・・・自らの命は自ら守る！

下呂市に迫る危機「阿寺断層」について学びましょう！

下呂市で発生が懸念される[阿寺断層系地震](#)では、震度5強から6強、部分的には**震度7**が予測され、建物被害、人的被害ともに多大な被害が予測され、**避難者数は1万3千人を超える**と予測されています。

特に、東日本大震災以降には阿寺断層帯の北部「**萩原断層**」で、今後30年以内に地震の発生する確率は最大11パーセントと指摘されています。

岐阜県では、明治24年10月28日に発生した「[濃尾大地震](#)」により、根尾谷の水鳥（本巣市根尾）には、最大で垂直に6メートルのずれが生じました。垂直方向に50センチメートルのずれを生じた阪神・淡路大震災の断層（兵庫県北淡町）と比較するとその規模の大きさが想像できます。



断層とは・・・

私たちが住んでいる街の地面を掘り下げていくと最後は固い岩の層にぶつかりますが、この岩の中にはたくさんの割れ目があります。通常、この割れ目はお互いしっかりかみ合っていますが、ここに「大きな力」が加えられると、割れ目が再び壊れてずれます。この壊れてずれる現象を「断層」活動といい、そのずれた衝撃が震動として地面に伝わったものが地震です。

（国土地理院）

次回は家具の転倒防止についてお伝えします。